



第203号

平成29年9月10日号

特別養護老人ホーム 作 楽 荘

〒441-8066 豊橋市王ヶ崎町字上原1番地145
TEL (0532) 48-5111・FAX (0532) 48-5112



滝川一亮理事長と老健ベルビューハイツ新施設長の花井謙次先生

目 次

就任挨拶 理事長再任のご挨拶……………	2
後援会より 後援会豊橋副会長 就任のご挨拶	3
(福)一誠福祉会後援会豊橋副会長 滝川 裕治	
荘内研修 キヤリアパスの再構築……………	4
(福)一誠福祉会本部 総務部長 青山 勉	5
研究発表……………	6
「長期に亘る失語症訓練の意義」(老健全国大会 老人保健施設BVH生活相談員副主任 高橋 初典 抄 録……………	7
老人保健施設BVH 言語聴覚士 本田 雄一	8
職域研修レポート……………	9
シリーズ② 特養奇楽荘 GHきくら編……………	10
(福)一誠福祉会本部付 滝川 一善 コンテスト 作楽荘盆踊りのボスター……………	11
作楽荘行事委員長 菅澤 洋介……………	18
施設だより……………	11
*作 楽 荘……………	18
年に一度の七夕会 特養介護士 夏の風物詩西瓜割り デイ生相談員 主任 藤田 慎之介 *美光ハイム……………	横井 宏和
大熱唱！カラオケ大会 生活相談員 一番ヶ瀬 智佳子 *倶 楽 荘……………	鳥居 裕子
お年寄りを見守ること 特養看護師 杉浦 美咲 職場環境は変わっても GH介護士……………	湯浅 順一
*ス 楽 荘……………	豊橋納涼祭り夜店 介護士主任 藤川 昌代
豊橋納涼祭り夜店 介護士主任 藤川 昌代 *ベルビューハイツ……………	萩本 英樹
七夕会 順末記 老健介護士……………	鈴木 洋子
七夕会 順末記 老健介護士……………	宮下 市陽
*DSC吉かわ……………	木村 明穂
七夕会の笑顔……………	看護士 鈴木 洋子
*麗 楽 荘……………	看護士 鈴木 洋子
七夕会は大好評 特養介護士……………	宮下 市陽
デイの交通安全講習会 デイ介護士……………	木村 明穂
*和光ハイム……………	川崎 俊弘
回転寿司で食事会 生活相談員……………	中村 美里
*GHきくら……………	菅沼 光朗
流しそつめん会……………	菅沼 光朗
*奇 楽 荘……………	菅沼 光朗
夏の夜！天土祭！生活相談員副主任……………	菅沼 光朗
*GHきくら……………	菅沼 光朗
念願のなばなの里へ……………	菅沼 光朗
施設日誌／編集後記……………	菅沼 光朗

就任挨拶

理事長再任のご挨拶

理事長 滝川 一 亮

去る六月十五日の理事会で、理事長に再任して頂きました。ありがとうございます。

取り組むべき課題は山積しておりますが、まずは本年度事業計画の経営方針であります、

①本部機能の強化

②財務体質の強化

③キャリアパス導入による人事評価の見直し

この三点を主軸とし、引き続き取り組んでまいります。

①本部機能の強化

今回の社会福祉制度改革によって、評議員会と理事会の役割が大きく変わりました。殊に理事会

は、毎月一回以上の開催となり、その協議決定事項が法人運営によりダイレクトに反映される様になりました。これまで本部が果たしてきた役割と重複する部分も出てきますので、理事会と本部がバランス良く機能する様に調整してまいります。

②財務体質の強化

当法人に於いては、ショートステイ・デイサービス・デイケア等の在宅系サービスが競争激化により苦戦しております。

また、地域密着型特養の経営効率の悪さが問題となっており、人員配置の見直しや経費の節減

等により、一層の改善を図ります。また来る平成三十年には、介護報酬と診療報酬の同時改定が控えています。マイナス改定が確実視される中、厳しい状況にも耐えうる強い財務体質を目指します。

感の無い、将来への展望をもつて働ける職場環境作りを目指します。

③キャリアパス導入による人事評価の見直し

従来の人材育成や人事評価では、資格の有無や技能は評価されるものの

来年にはいよいよ法人創立三十周年記念行事を迎えます。一番楽しみにされていた滝川一興名誉会長が、この三月に他界するという悲嘆を乗り越えて、お世話になった皆様と共に祝い、喜びを分かちあえる様、着々と準備を進めております。

上司の主観で行われ、評価基準も曖昧になりがちです。また、仮に同じ給与であっても、配属部署

名譽会長が掲げた「ノーマライゼーション」

量にばらつきが生じてしまいます。これらの不平等を解消する目的で、六月からキャリアパス導入に向けてのプロジェクトを開始しました。不公平

「[Lees (smile speed smart)]」を踏襲し、利用者の皆様が安心して生活して頂くためのサービスを社会福祉法人の責務として提供してまいります。

今後ともご指導ご鞭撻の程、宜しくお願い申し上げます。

上げます。

後援会だより

後援会豊橋副会長 就任のご挨拶

(福)一誠福祉会後援会豊橋副会長 滝川 裕 治

後援会豊橋副会長に就任致しました、滝川裕治と申します。大工修業後独立し、工務店を十七年間営んで参りました。宜しくお願い申し上げます。

ご逝去されました滝川一興名誉会長には、公私共々大変お世話になりました。博学で温かく時に厳しかった名誉会長には、様々な場所に同席させて頂きました。その都度貴重な経験をさせて頂きつつ、名誉会長の人脈を紹介して頂いた事が、今も鮮やかに蘇って参ります。名誉会長は私を、一誠福祉会後援会理事に推挙し、茶道宗徧吉田流入門

に導いて下さいました。

また、文化財建造物所有者に対して保存・活用の助言を行う、「あいちへりテージマネージャー」に私がなりましたのも、名誉会長が東京登録有形文化財所有者の会・愛知登録有形文化財所有者の会及び忠震会にご紹介下さった事が切っ掛けでした。何一つご恩返しできず悔やまれます。だからこそ、名誉会長が「ノーマライゼーション」の理念を掲げて設立し、幾多のご苦勞を皆様と共に乗り越えて立派な組織とされたこの一誠福祉会におきまして、将来に向け更なる

成長を遂げるべく、滝川一亮理事長先生のもとで尽力して参ります。

早速ですが、後援会豊橋の井上会長が掲げられました左記六つの課題達成の為、理事の皆様と協力し実行して参ります。

- 一 会員名簿の整理と会員の増強対策
- 二 会員相互の親睦と面談の機会設定
- 三 法人各施設の巡回と、職員との面談による現状の把握
- 四 各施設入居者やご家族との面会による、ご意見ご要望の聞き取り
- 五 職員能力向上の為の、教育や研修についての支援並びに協力
- 六 その他、後援会会員のご意見を拝聴し、出来る事から実行



合同後援会における就任挨拶

利休百首の最終句に、「規矩作法守りつくして破るとも 離るゝとても本を忘るな」とあります。名誉会長の教えを守りながら、後援会に求められているものは何か、今後何が必要になるのか、自分が必要にすべきことは何かを常に考え、和顔愛語で責務に邁進する所存です。豊橋と新城の地域に根差した評判の良い施設としての、益々のご発展をお祈り申し上げます。

荘内研修

キャリアパスの再構築

(福)一誠福祉会本部 総務部長 青 山 勉

本年度の当法人経営方針については、理事長が本誌巻頭言で述べられている通りですが、そのひとつが「キャリアパス導入による人事評価の見直し」、換言すれば、「キャリアパスの再構築」です。

従来の社会福祉法人は、おおよそ設立当初に作成した県に準ずる給与規程等による、経歴・年齢重視がベースとなつて現在に至っています。しかし、時代は措置から介護保険へと変わり、また社会経済・社会構造の変化、法律の改正とともに、高齢者福祉を取り巻く環境も大変厳しくなりました。

必然的に働く現場にもそれが浸透して、厳しい職場環境が強いられ、慢性的なマンパワー不足に繋がっています。このような現況下、職員の確保がどの社会福祉法人でも最重要課題となりました。

当法人としては、公平な評価、適正な昇進とそれにともなう給料のアップ、そして技術の向上によるモチベーションのアップを目標として、キャリアパス構築に取り組んできました。しかし、時代の波はそれ以上の速さで押し寄せ、早期の実現が急務となりました。この点を踏まえて、本

部でも侃々諤々と意見を戦わせてきたのですが、長年続けてきたシステムからの脱却を内部から改革し、早期に実施するのはなかなか難しいと判断しました。昨年末よりこの道の専門家を招き、ブレゼンを受けるなどしてアウトソーシングの道を模索してきました。そして、講師の先生を選定し、理事会・評議員会で承認をいただき、キャリアパス構築のプロジェクトは6月より始まりました。

このキャリアパス研修における、見直しのテーマは以下の内容です。

これにより職員個々にキャリアアップの道筋を示して、モチベーションアップと能力開発を促す。給与制度の見直し

人事考課結果を昇給に反映させるルールを明確化する。また、賞与勤勉手当の成績率の算定根拠を明確化する。

等級制度の見直し

現行の11等級制では等級基準が明確になっていないため、新たにその明確な基準を設定する。

準職員についての、人事制度の見直し

正職員の新たな人事制度をもとに見直す。

その他

諸手当について見直すとともに、キャリアパス運用上に必要な規程や様式を作成する。

このような目標を達成するために、経営陣プロジェクトと職員代表プロジェクトの2ブロックに分け、今年6月から来年2月にかけて、毎月1回、1日6時間の研修を実施し、平成30年4月1日の運用を目指します。

経営陣プロジェクトは、幹部および将来の幹部候補9名で組織され、「キャリア制度の基本的な枠組み」「賃金制度」「人事考課制度のフレームワーク」「等級制度のフレームワーク・基準」「昇給制度」「人事考課の運用ツールの作成」「人事担当部署の役割設計」「運用上必要なツール類」につき検討・作成します。そして職員プロジェクトは、各事業所・各部署

から選出された代表職員の44名が、「人事考課シートを作成する(考課基準の設定)」「等級基準を作る」「職員代表を巻き込みながら、基本的な枠組みに肉付けをしていく」「ともに作業することと当事者意識を醸成して、制度理解の促進を図る」「現場に導入する際の主体者の育成をする」「考課者訓練の場に位置づける」について話し合います。

トンネル工事のように、両側から掘り進めて最後に貫通させます。特に職員代表の研修では、幹部の参加は控えて現場主導で伸び伸びと、自由闊達に検討できるよう配慮しました。ただし、仕上げ部分については、幹部も

係わることになります。

経営陣の研修初回は6月に作楽荘で、現行の諸規程を現状分析し精査するとともに、実際の運用と異なる箇所を修正し追加内容を検討しました。

職員代表の研修初回は7月、麗楽荘で行われました。新人研修や木の花会の職員旅行・歓迎会・忘年会以外で、全事業所の職員が一堂に会するのは稀なこと。程よい緊張感と一体感が生まれしました。これも今回のプロジェクトのねらいです。

この日の職員代表プロジェクトの前半は、キャリアパスの概要説明および処遇改善加算のしくみ等基礎的な講義、その後隣同士でディスカッション。そして午後、後半は



職種別のディスカッション

職種別のグループディスカッションで、モデル動画を見ながらその言動を個人ごとに評価して答えの刷り合わせ。また、模造紙を使用して、グループ内で出た意見を付箋に書き貼っていくという講義にも、参加者全員真剣に取り組んでいました。このキャリアパス研修を通して、「ここで働きたい」と思えるような制度を、全員で作成していくではありませんか。

研究発表

「長期に亘る失語症訓練の意義」(老健全国大会)

老人保健施設BVH 生活相談員副主任 高 橋 初 典

7月26日(土)28日の3日間、愛媛県松山市で開催された老健全国大会に、本田雄一言語聴覚士と共に参加しました。

セントレアから松山空港への移動の際のプロペラ機には不安を覚えましたが、思ったほどの揺れはなく1時間程のフライトで到着しました。

その日は特に行事はなかったのですが、松山城と湯築城まで足を延ばしました。湯築城は、あまり知られていない城ですが、伊予国(現愛媛県)の守護大名、河野氏が二百六十年間治めた名城です。豊臣秀吉の四国征伐で廃

城となりますが、水堀や巨大な土塁が残存しており見応えがありました。



研究発表前の2人

2日目は、発表当日です。しかし、午後5時半からの最終発表なので、なかなか出番が回ってきませんでした。早く発表を終え楽になりたいかったのに、松山全日空ホテル・サファリアルームという豪華な会場が、より一層緊張を掻き立てました。

そして、いよいよ発表の時となりました。演題は、「長期に亘る失語症訓練の意義」です。4年(6年半)の期間で言語聴覚士(ST)が訓練を実施してきた、失語症者3名の症例について改めて評価すると共に、その関係者(親族・施設職員)や利用者本人にも支援相談員が抜き打ち的にアンケートを実施して、その意義を考察しました。

詳しくは、次ページの結果を参照して頂きますが、失語症は脳の障害である為、体力の衰えや怪我によるADL機能低下の影響を直接的に受ける事が少ないのです。また、急性期・回復期病院と異なり、老健への入所やデイケアの利用は、生活期

におけるリハビリによって他者との関わりが増加します。そして、リハビリを長期間継続する事で、不安感や障害感が軽減され、コミュニケーション意欲や信頼関係が改善されるように思われます。

演題発表をした会場では、STによる発表は私達だけだったので、発表後は数多くの質問を受ける結果となりました。

私の立場は、利用者や家族・職員にアンケートを行うだけの役割でしたが、この大会に出席した事で老健職員や支援相談員として一歩でも進歩出来たと思います。これからも言語リハビリを真剣に見つめていきます。

多くの経験をさせて頂いた老健大会でした。

抄 録

長期に亘る失語症訓練の意義

老人保健施設BVH 言語聴覚士 本田 雄一

【はじめに】

デイケアと老健それぞれにおいて、言語聴覚士が最も長期（4年～6年半）に亘りリハビリを実施してきた失語症者3名について、改めて言語評価をすると共に、その関係者や利用者本人にも症状等についてのアンケートを実施した。急性期回復期病院とは異なり、デイケアや老健といった生活期における場では他者との関わりが増加する。その為、言語聴覚士の評価だけではなく、コミュニケーションの実践相手である親族や施設職員といった関係者からの視点が客観的な評価に欠かせないと考える。又、QOLの観点から本人にも聞き取りを行った（下記3名は理解面での障害が少ないブローカー失語タイプであるため、簡単なアンケートの実施も十分可能であった）。これらを基にして、長期に亘る失語症訓練の意義を考察した。

【症例及び評価】

症例A氏；デイケア利用 79歳男性 脳出血 右片麻痺 杖歩行（近年、体力や歩行能力低下顕著）

当施設での失語症訓練歴6年9ヶ月

症例B氏；デイケア利用 88歳女性 脳梗塞 右片麻痺 車椅子（3年前の転倒骨折により）で自力移動

当施設での失語症訓練歴6年10ヶ月

症例C氏；施設入所者 53歳男性 脳梗塞 右片麻痺 ほぼ自力で車椅子移動（入所時は全介助）

当施設での失語症訓練歴4年6ヶ月

まず、SLTA（標準失語症検査）を実施した上で、訓練開始時と現在との比較を行った。症例A氏およびB氏は検査上、理解・表出共に訓練開始時と大きな変化は見られなかった。A氏のコミュニケーション意欲は当初から高い。会話時の錯語の減少、短文レベルでの表出の増加が見られる。B氏は言語能力の維持は成されている。性格はやや控えめであるがリハビリ時は表情豊かで、他者との関係においても笑顔が多く見られるようになってきている。C氏は理解・表出共に検査上改善が見られ、とりわけ話す能力（呼称・音読能力）において顕著である。他者とのコミュニケーションを楽しむようになり、喚語力の改善により発話量も増加してきている。

【調査と方法】

調査は精神的なバイアスが掛からないよう、事前にセラピストから対象者へ伝えず、抜き打ち的に相談員が実施。対象者は本人・親族、および訓練開始当時の担当職員（看護師・介護士・理学療法士）である。失語症者本人への聞き取り時は視覚呈示も行い、ポインティングを併用し回答して頂いた。

【結 果】（※別表略）

A氏；主観・客観で改善項目が多い（身体面低下）。

B氏；主観で言語能力維持、客観では能力・精神面に改善評価もあり（身体面低下）。

C氏；主観・客観でほとんどの項目に改善評価。

3氏共、過去のリハビリ満足度、今後のリハビリ意欲が良好。

【考察・結論】

急性期回復期と異なり維持期（生活期）ならではのメリットとして、長期に亘り訓練を継続出来るという点がある。継続的な人間関係が保たれることでセラピストと失語症者とのラポート形成（信頼関係）も深まり、リハビリへの意欲も保たれる。また長期間の訓練でコミュニケーション面での不安感・障害感が継続的に軽減され、C氏で特に顕著であった精神面での改善と、それに続く他者とのコミュニケーション意欲改善へと繋がって行く。幸いデイケアや老健といった場合は、言語リハビリでの成果を即座に実践し、他者（周りの多くの利用者や職員）に試すことが出来る環境にある。実践結果はその後の訓練で更に次のステップへ繋げる。生活期における場でのリハビリは、このような好循環となって言語機能の向上も得られやすいと感じている。もう一つの意義として、失語症は身体機能と比べ長期に亘り改善または維持されやすいという点である。失語症は脳の障害であるため、A氏およびB氏に見られた（高齢者に起こりがちな）体力の衰えやケガによるADL低下の影響を直接的に受けることが少ない。その為、それまでの訓練を継続的に実施でき、両氏のように長期に亘り言語能力・QOLを維持、向上させていくことが期待できる。ここにも長期失語症訓練の意義があると考えられる。

【今後の展望】

考察で述べたとおり、デイケアおよび老健は、維持期の失語症訓練の場として理想的であるように思われる。今後もこの恵まれた環境のなか、1人でも多くの失語症者と関わり、障害の軽減に努めていきたい。

職場研修レポート

シリーズ② 特養奇楽荘・GHきらら編

(福)一誠福祉会 本部付 滝川 一 善

研修レポートもシリーズ化されてしまいました。まだまだ麗楽荘ネタも尽きませんが、今回は次なる施設について。

麗楽荘グループの奇楽荘は、九〇十名を一ユニットとし、計三ユニットからなる小規模特養。当法人の施設の中では一番新しく、設備面も充実しています。別所街道から宇利川の方へ道を一本入った里山に立地し、クロスカーパーペットが敷き詰められた館内は閑静な空間となっております。

基本的な勤務体制は四交代制ですが、早番勤務は午前七時からと、麗楽

荘に比して三十分早くなっております。当然、私にしてみれば朝自宅を出る時刻は早まり、起床時刻については言わずもなです。

夏から秋にかけての時期を麗楽荘で過ごし、冬の訪れとともに奇楽荘へ異動となったため、早番の日には暗闇の中を疾走しての出勤でした。豊橋市から新城市に入るあたりでは霜が降りていたりして、実際の気温もさることながら、山や田畑も寒々しかった頃です。

小規模特養では、三度の食事を職員が準備します。準備はするのですが

調理はしません。調理はしませんが、栄養あるメニューでこしらえられたものが届くので、温度調整をして盛り付けをします。また、奇楽荘では入所者本位の生活をモットーに掲げていることもあって、起床はそれぞれ好きな時刻、就寝も利用者本位の時刻となっており、ユニットであるからこそそのシステムといえるでしょう。

奇楽荘はシーツの形状が既存の施設群とは異なります。端から一辺がフールド形状であるため、マットレスに被せてしまえるのです。これは想像以上のアドバンテージがあるので、大箱のスペースの施設では是非とも取り入れたいのではなからう

か、と思いました。もちろん、規格の異なるエアーマットなどはこの限りではありませんが、一度知ってしまおうと…。

この施設で初めて目にしたのは、「ヨーグリーナ」という家電製品。品名からお分かりのとおり自家製ヨーグルトを作ることが出来ます。ある日某スタッフのアイデアでミカンヨーグルトを作ったのですが、残念ながら利用者の評判は今一つだったよう。



期待されるヨーグリーナ

「あつ」という間に一ヶ月が経ち、平成二十九年に入ると、研修先はG日きららへ移りました。奇楽荘とは車で数分の位置にあつてやや豊橋寄りのため、若干ですが通勤時間は短縮されます。ただし、近くに架かっている橋は凍結することが多々あったり、飛び出してきた鹿と衝突したスタッフもいたりしてとにかく危険が多いので、まずは自身が注意するように言われました。

グループホームは利用者同士の「共同生活」が基本形態となるので、利用者の平均介護度は低めになります。認知症の進行度合いが一つのポイントになります。きららの利用者さんは穏やかで

協調性のある方が多く、溶け込むのにあまり時間はかかりませんでした。「私じゃ今年は年女だ。あんた何年(生まれ)だ? 酉? ホントか? アツハツハッハ!」という会話が繰り返されたり、「ミカン食べ!」「お茶飲め!」「ちよつと休め!」と言ってもらえたりで、スタッフと利用者というよりは、「共同生活」の一員として迎え入れてくれたように感じました。

共同生活というからは、毎日毎食の食事の準備も買い物も、スタッフと利用者の皆さんが共に行います。前述の奇楽荘とは異なり、こちらでは食材の購入から食事の準備です。だからでしょう、事前の打ち合わせの

際に料理に関しては門外漢だと吐露した私は、主任にがっかりした顔をされたものです。

GHきららは、他のグループホームと比較しても「かなり特殊」と聞かされていました。過去の機関誌でも紹介されておりますように(第191号)、田んぼをつくり稲作をしたり、正月飾りのための「裏白」を山の中へ採取しに出かけたりしています。ピザ釜をつくってピザを焼いたり、私がいた時にも炭に火を起こして芋を焼き、「俺ン家(オレンジ)カフェ」という名の認知症カフェ(前号でも紹介されました)で提供したりしました。利用者それぞれの氏神様の神社へ初詣に出か

けたり、皆で外食をしに行ったり、グループホームならではの自由さを感じたものです。利用者の皆さんにとっては、真冬の寒い時期であつても外出することが楽しみのようでした。



ベンチ塗装も、田植えの下準備も

現在は認知症カフェを足掛かりにして、施設やサービスの理解を地域に求め続けているところでもあります。

コンテンツ

作楽荘盆踊りのポスター

作楽荘行事委員長 菅 澤 洋 介

作楽荘では他施設に先駆けて8月5日、毎年恒例の「納涼盆踊り」を開催し、盛況のうちに無事終了いたしました。

盆踊りとは、盂蘭盆の前後に老若男女が多数集まって踊る行事で、年に一度この世に戻る精霊を迎えてまた送る風習に発したものの、現在では信仰性は失われ、多くは娯楽的な踊りとなっているそうです。私は作楽荘の盆踊りとは、この双方の意味合いを持つものではないかと思っています。さて今年は、特養作楽荘や美光ハイムに入所されている方々や地域住民

の皆様にも、年に一度の盆踊りを楽しんで頂くこと、1か月半程の期間をかけて準備してきました。

その盆踊り用ポスターは、例年、行事委員が作成してきましたが、今年は全職員から作品を募集し、全職員による投票で採用ポスターを決めようという、コンテスト企画案が持ち上がりました。

そして、投票で一番多くの票を集めた最優秀作品には、荘長賞として豪華景品が出るという事もあってか、十数点のポスターが出揃いました。いよいよ投票開始となり、集会室に出品ポスター

1を展示して、昼休憩の時間を使って約一週間の投票期間を設け、そこは不正のないよう行事委員が投票箱を管理しました。どのポスターも個性的で、一票の選択に悩む職員が多く、集会室は真剣な雰囲気にも包まれていました。驚いた事に、投票率はほぼ100%でした。



最優秀賞作品

今回の総選挙でセンターの座を得たのは、藤原副荘長の作品でした。おめでとうございました。また、コンテストにご協力頂いた職員の皆さん、ありがとうございます。

行事委員会が主体となつて盆踊りの準備を進める事は当然なのですが、全職員の皆さんと一体感をもつて準備を進める事ができた今回の感覚に、私は鳥肌が立ちました。盆踊りを全職員と共に成功させたいという強い思いを、皆様のおかげで叶える事ができました。

多くを学べた今回のこのとても貴重な経験を、今後の業務に生かしていきたいと思っています。



盆踊り後は花火大会を実施

施設だより

作楽荘

○年に一度の七夕会

特養介護士 藤田 慎之介

七月七日、作楽荘は年に一度の七夕会。七夕食の提供などのほかに、毎年恒例となっている七夕劇の上演があります。今年も劇に出演する私たち職員は終業後に練習を重ね、本番に備えました。

織姫と彦星が一年に一度天の川で出会うという、この伝説の物語を通して、一年の時の流れの中における季節行事の一つとして、入所者さん・利用者さんに夏を感じて頂き、昔に思いを馳せて楽しんで頂くことを期待して、上演を繰り返してきました。

そして今年の本番当日、特訓の努力が実を結び、皆さんに七夕劇を楽しんで頂けたようです。「楽しかったよ」「衣装など凝っているところが凄かったね」「織姫と彦星が最後一緒になれてよかったねえ」などの感想を頂きました。



七夕劇のフィナーレで勢揃い

この日の七夕会に向け、皆さんが心を込めて短冊に書いて笹に結んだ願い事も、ホールにいっぱい飾られていました。

○夏の風物詩 西瓜割り

デイ生活相談員主任 横井 宏和

去る七月二十日、デイサービス作楽荘のデイルームにて、利用者二十一名の皆さんがデイ職員と一緒に、夏の風物詩、西瓜割りを楽しみました。作楽荘が善意銀行より頂いた、りっぱな西瓜を使用させてもらいました。

皆さん童心にかえって笑顔を見せながらも、真剣になって西瓜めがけ棒を振り下ろします。だから始めは、紙製の棒を使用することにしました。お年寄りとは言え、皆さんなかなか力もあり運動神経も優れていらつしやるので、たとえ手拭で目隠ししようが物ともせず、

すぐ正確に西瓜を打ち砕いてしまうからです。

しかし、いかんせん、紙製の棒ではあの固い西瓜を割る事は出来ません。予定通り、何人も交代で楽しむ事が出来ました。

また、シャイか遠慮か、見物に回られた方々は、大歓声で「右！左！後ろ下がって！」と遠慮なく叱咤激励されていました。

そして最後に、木製の棒に持ち替えられた幸運な利用者さんが見事一刀両断、西瓜を割りました。



童心にかえって西瓜割り

美光ハイム

○大熱唱！カラオケ大会

生活相談員 一番ヶ瀬智佳子

去る7月29日、美光ハイム初の試みで、カラオケ大会を催しました。

カラオケは、参加することにより孤立せず、人との交流を持ちつつ楽しい時間を共有できることは勿論のこと、発声することにより唾液の分泌を促し、嚥下機能を高めることにも繋がります。

普段は消極的な方も参加して下さり、いつもとは違う一面を拝見するところが出来て、とても嬉しく感じました。歌い手のみならず、応援の方々も鳴物を手に、一生懸命盛り上げて下さいました。また、他部署職員の飛入

り参加もあり、会場はさらに熱気を帯びました。

第一回カラオケ大会は

大盛況のもと幕を閉じましたが、皆様の美声は甲乙つけ難いもので、隠れた才能を垣間見ることが出来ました。皆様から頂戴した溢れんばかりの素敵な笑顔が、何よりの宝物となりました。心から感謝申し上げます。

私事です、7月より、

本部（故会長秘書）から美光ハイムへ異動となりました。まだまだ不慣れな点も多く、皆様へ御不便をお掛けしておりますが、今後も入居者の方々と共に創り上げていく『楽しいひととき』を、大切にしていきたいと思っております。どうぞ宜しくお願い致します。

倶楽荘

○お年寄りを見守ること

特養看護師 鳥居裕子

皆様は、人生の最期をどのように迎えたいとお考えでしょうか？重い話題になりますが、とても重要な問題です。

私はこの特養で働くようになって、人の死についてより真剣に考えるようになりました。お年寄りに接する仕事に携わる者にとって、人の死は必ず直面する出来事であり、積極的に向き合う必要があるからです。

「その人らしい自然な最期」とは、だれもが望む理想の姿ですが、はたしてその言葉どおりになるのでしょうか？

この2年間で何人かの

お年寄りの最期を見守りましたが、すべての方がその人らしい自然な最期を迎えられた訳ではなく、さまざまな事情によりご本人の望みとは違う形となった方もいらっしゃると思います。後になって、あの時どんな手立てを講じれば良かったのか？と考え悩むときもあります。

いまだ正しい答えを導くには至りませんが、ご本人の望む穏やかな日々の積み重ねこそが、重要であると思われます。

看護師として出来る事は、入居者様一人ひとりの細やかな変化に気付く観察と、老化という自然の摂理に抗わない健康管理、そして穏やかな日々を送られるお年寄りを見守ることと考えています。

○職場環境は変わっても

GH介護士 杉浦美咲

今年の4月、特別養護老人ホーム作楽荘からグループホームくららに異動してきました。新たな職場へ移るにあたっては、緊張感で不安を感じる時もありましたが、実際に仕事に就いてみると、職員の方々が優しく丁寧に接してくださり、少しずつですが職場に慣れることができました。

特養作楽荘では大人数の方々が一緒に生活されていますが、グループホームは少人数。9名程度の方々がワンフロアで、各自のリズムに合わせて、より家に近い環境で生活されています。

特養ではなかった、入居者の皆さんと一緒に食事の支度を行う仕事等があります。今までの特養と今度のグループホームの一日の流れの違いに戸惑い、驚きながらも、教わったこと一つひとつが出来るようになる度に喜びを感じられて、やりがいを持って取り組めるようになってきました。



食事の後片付けも一緒に

これからは、より自信を持って取り組めるよう頑張りたいと思います。

ス楽荘

○豊橋納涼祭り夜店

介護士主任 湯浅順一

外出するにはもってこの季節となった6月のある日、入居者の皆さんも職員も何かそわそわしていました。ある入居者さんから、「昔はこの時期には夜店に行ったよ」と話が出ると、豊橋公園で開かれている納涼祭り夜店へ、外食も兼ねて、そろって出かけることになりました。

現地へ到着するまでの道すがら、車中の皆さんは上機嫌。懐メロを口ずさむ方やら、「財布は持ってきただったかね?」「団子はあるかな?」と食べることを楽しみにしている方やら…。そして現地

に着き、その懐かしく楽しさあふれる光景を目にすると、また自然と笑顔がこぼれました。

早い時間に到着したためにまだ客足はまばらで、車椅子でもどろん屋台を見て回ることができました。一回りしたところで一服休憩。皆さん念願の、綿菓子・焼きそば・たい焼きを買って食べることができました。いっぱい楽しい思い出ができました。



記念写真でも皆さん上機嫌

ベルビューハイツ

○七夕会顛末記

老健介護士 藤川 昌代

去る7月8日、恒例の七夕会が行われました。

この七夕会では、余興の催し物を新人職員と移動職員が担当する慣わしとなっており、新城からこの春異動した私も参加する事となりました。

日々の業務でさえ覚束無い状況下、大丈夫かと不安な気持ちを抱きつつ、業務の合間を利用して話し合いを重ねましたが、内容は二転三転。最後はもうどうにかなるだろうといった心境で、七夕会当日を迎えたのでした。

大勢の利用者さんを中心に緊張感一杯の中、私達の出番となりました。

何とかやり遂げる事に必死でしたが、何時の間にか企画した内容から外れて、歌有り踊り有り、で、てんやわんやの大騒ぎ。正に冷や汗ものの連続でしたが、はじける笑顔の利用者さんの声援に励まされ、無事終了しました。



企画を外れて大騒ぎ

まだまだ新しい環境に悪戦苦闘の私達ですが、声援を送って下さった利用者の方々の好意に報えるよう、頑張っています。

○ラグナシアへバスハイク

デイケア介護士 萩本 英樹

デイケアでは、今年も利用者さんの多数決により、蒲郡のラグナシアにあるフェスティバルマーケットに行きました。

マーケット内には多くの海産物店が有りますが、特に「虎屋のういろう」「一色屋のえびせん」が人気で、試食した後で買う方が多くいました。

一回りした後、マーケットの外で記念写真を撮ると、お待ちかね、おやつタイムです。このおやつタイムを楽しみにしている方が多く、ソフトクリームやたい焼き・お団子など、一人一品好きな物を選んで、マーケット



笑顔満面 おやつタイム!

内のフードコートや、外のベンチで食べました。普段とは違った雰囲気なので、皆さんの一番の笑顔が見られました。「こんなおいしいたい焼き、食べた事ない」なんて言葉まで聞かれました。

片道30分程の道のりですが、出かける機会之余り多くない利用者さんにとって、車の外出はワクワクもの。車内でも、笑顔でお話しされている方を多く見受けました。

DSC吉かわ

○七夕会の笑顔

看護師 鈴木 洋子

晴天に恵まれた7月7日、七夕会として第1弾「流しそうめん」を企画しました。流れてくるおそうめんの勢いに、「来たよ来たよ！早く早く！」と歓声を上げながらお箸ですくい上げます。「結構食べたね」「いや、まだ足らんよ」と各々笑いながらの満足げな表情と、「美味しかったよ！」との評



やっぱり暑い季節は流しそうめんだね！

価を頂きました。家庭では味わえない雰囲気を楽しんで頂けたのではないかと、嬉しく思いました。

次に第2弾は「カラオケ大会」です。好きな歌を元氣良く歌う方、しみり聴き入る方、また手拍子で盛り上げてくれる方と、皆さんが各人各様に楽しまれていました。

そして第3弾、「手作り紙芝居」です。職員お手製の紙芝居で、台詞は職員がそれぞれ役割分担している。いろいろ声色を変え、感情を込めながらの名演技ぶり。皆さん見入り聞き入り、拍手喝采のうちに終了しました。

一つひとつの企画をさらに工夫して、これからも元氣な笑顔が見られるよう努力して参ります。

麗楽荘

○七夕会は大好評

特養介護士 宮下 市陽

7月5日の午後、特養の七夕会を行いました。

入所者の方々には、30分ほどの職員手作りの人形劇を観てもらいました。織姫・彦星とその子供や船頭さんらが登場するのですが、劇は徐々に盛り上がり、そこで繰り広げられる独自のストーリーと人形の動きに、皆さん興味津々のご様子でした。劇の合間には職員5名による白鳥の湖の舞いがあり、私も初参加しました。

即席の舞いでしたが、これがなんと大好評で、涙を流しながら笑ってくれた方もいました。

劇の終わりには、「月

がとっても青いから」と「きらきら星」を皆さんと一緒に歌いました。今回の劇は去年の劇からの続編、いわゆるパート2なので、楽しみにしていた方もいたようです。



願いが叶いますように！

「次回も楽しみにしているね」と言ってくださり、私自身このレクリエーションに参加するのは初めてでしたので、今後入所者の方々に喜んで頂けるように様々な事に挑戦していきたいです。

○デイの交通安全講習会

デイ介護士 木村明穂

7月12日に新城警察署の方を招き、交通安全講習会を開催しました。初めに自動車事故事例のDVDを鑑賞し、その後「高齢者の交通事故」に関しての講話をしていただきました。

講習前には、「今は乗っていないから事故も何もないよ」「今更、教えてもらわなくてもねえ」などと笑って話されていた利用者の皆さんも、事故事例をもとにしたお話でしたので、最後まで真剣な表情で聞いておられました。「乗っていないから大丈夫なんて事はないんだねえ」「免許はまだ持



講話を傾聴するデイの皆さん

つていいのかな？まだまだ運転出来るなんて思ってたけど、そろそろ返す事も考えるべきだね」などの、深い関心と慎重な姿勢が窺えました。今回のこの講習会では、参加した利用者の皆さんも職員一同も、改めて交通安全について考えさせられました。

今後も、利用者の皆さんとともに、安全な日々が送れるよう努めてまいります。

和光ハイム

○回転寿司で食事会

生活相談員 川崎俊弘

8月21日、豊川市にある回転寿司「くら寿司」で食事会をして来ました。

当日はまだ梅雨に入っていないませんでした、朝からバケツをひっくり返したような大雨で、車の乗降時や移動の際には濡れてしまい大変でした。

店内に入って席に着くと、レーン内を回るお寿司を横目に何を食べようか迷っている方、早速われ先にと好みのマグロ・玉子・茶碗蒸し…と手に取る方、一品一品お店に注文する方と人それぞれ。私は普段施設の外で一緒に食事をする機会が少ないので、お店で食事を



お店のお寿司は最高だね♪

される皆さんの喜び一杯元氣一杯の表情を見て、いつもとは違う様子にびっくりしました。皆さん思い思いに、回転寿司を楽しまれたようです。そして、食事が終わって施設に帰り、皆さんに食事会の感想を聞いてみると、「お寿司は美味しく食べて来れたけど、天気良かったのね」と最高だったのね」と言いながらも、とても満足そうな顔つきでした。

GHうらら

○流しそうめん会

介護士 中村 美里

七月七日の七夕の日、グループホームうららの中庭で流しそうめん会を開催しました。

毎年の恒例行事なので、皆さんとても楽しみにされています。「さあ、流しますよ!」という職員の声がかかると、皆さんお椀と箸を持って構え、気合十分。職員が朝から準備した流しそうめん用の竹を使って、冷たいそうめんを流します。

自分の目の前のそうめんを上手にすくい取り、おつゆをつけてツルツルと召し上がり、「つゆも美味しい!」と満面の笑



夏の風物詩 流しそうめん

みを浮かべます。用意していたそうめんは、皆さんの箸も進んであっという間に終了。その様子を見た職員も、にこやかな気持ちになりました。後で私たち職員も一口頂きましたが、暑い時期の冷たい流しそうめんはとても美味でした。これからも、入居者の皆さんの笑顔がいつばい見られるよう、努力していきたいと思います。

奇楽荘

○夏の夜〜天王祭〜

生活相談員副主任 菅沼 光朗

一鉄田地区、夏の夜の天王祭では、打ち上げ花火と手筒花火が呼び物です。今回、地元の方たちのご厚意で、花火を間近で観ることになりました。

入居者の皆さんは大喜び。それでも、普段はもうお休みの時間帯での外出なので、始めは少々緊張気味のご様子でした。

八月とあつて夜になっても蒸し暑く、うちわをパタパタと扇ぎながら夏の雰囲気を感じます。気が付くと、「風、行く?」と職員に向けて扇いでくれている入居者さん。そんな優しい思いやり、とても嬉しく感じました。



天王祭の打ち上げ花火

打ち上げ花火の大きな音には、「わあ!」と大歓声を上げ、手筒花火の勇壮な姿の地元の方たちには、「かっこいいね!」と拍手を送っていました。

天王祭奉納行事も終わり、帰り支度をしていると、「楽しめましたか? 来年も元気に来てくださいなね」と法被姿の地元の方に温かい声をかけて頂きました。それとても嬉しく、夏の楽しい思い出の一つになりました。

GHきらら

○念願のなばなの里へ

介護士 伊藤 絢美

古代より日本人の心を
つかんできた初夏の花、
梅雨時に馴染みのある紫
陽花と菖蒲を観たいとの
リクエストの声が多く寄
せられていたので、企画
から1年、〈なばなの里〉
へ出掛けてきました。

さらさら東名高速を
利用して、約90分ほどの
行程です。刈谷にあるハ
イウェイオアシスに寄り
道をした後、なばなの里
へ到着。広い園内の一番
奥に紫陽花や菖蒲がある
ため、散策しながら目的
地を目指しました。

散策の途中、「この花
は何の花かね」「見たこと

ないね」と会話も弾みま
す。そして目的地に到着
し、色とりどりの紫陽花
を見ると、「うわ、奇麗
だね」としばしみんな
で見惚れてしまいました。
その後、売店で買い物
をしたり昼食を食べたり
したので、少し慌ただし
い外出になりましたが、
みなさん、事故もなく無
事に帰宅できました。

また、みんな一緒にお
出かけをしたいと思います。



紫陽花の前でハイ、チーズ！

本部 日誌

平成29年7月

12日 本部会議(於 斯楽荘)
14日 採用選考筆記試験(於 作楽荘)
18日 職員代表プロジェクト第1回キャリアパス研修(於 麗楽荘)

19日 採用選考面接(於 作楽荘)
24日 第2回評議員会(於 作楽荘)
25日 正社員就職説明会(榎山部長・滝川一善 於 豊橋合同庁舎)

26日 後援会豊橋新城合同理事会・懇親会(於 泉山園)
28日 第3回理事会(於 TSK)

29日 新卒者職場見学
31日 経営陣プロジェクト第2回キャリアパス研修(於 作楽荘)

平成29年8月
11日 採用選考筆記試験(於 作楽荘)
14日 新卒者職場見学
22日 職員代表プロジェクト第2回キャリアパス研修(於 麗楽荘)

23日 経営陣プロジェクト第3回キャリアパス研修(於 作楽荘)
30日 本部会議(於 作楽荘)

法人創立30周年記念事業実行委員会(於 斯楽荘)

平成29年7月
3日 音楽ヴォランティア(歌の輪会)
生花クラブ 講師 林先生

介護支援専門員実務研修実習生受入れ(居宅12日・18日)
4日 ガラス絵クラブ(講師 朽名先生)

職種別会議(保健師職(高須 於 松崎病院)
杜保育園園児慰問
6日 七夕会
7日 七夕会

8日 愛知大学吹奏楽団演奏
10日 給食会
11日 寿司祭り

職種別会議(主任ケアマネ)(渡邊 於 大清水センター)
16日 誕生会

作楽荘 日誌

平成29年7月

3日 音楽ヴォランティア(歌の輪会)
生花クラブ 講師 林先生

介護支援専門員実務研修実習生受入れ(居宅12日・18日)
4日 ガラス絵クラブ(講師 朽名先生)

職種別会議(保健師職(高須 於 松崎病院)
杜保育園園児慰問
6日 七夕会
7日 七夕会

8日 愛知大学吹奏楽団演奏
10日 給食会
11日 寿司祭り

職種別会議(主任ケアマネ)(渡邊 於 大清水センター)
16日 誕生会

鎌倉恵美子さん(74歳・鈴木 ちづさん(78歳)
糸柳 君江さん(77歳・安田由美子さん(75歳)
原田登志枝さん(78歳)
茶々倶楽部社内研修

18日 音楽ヴォランティア(日本の歌愛唱会)
職員代表プロジェクト第1回キャリアパス研修(於 麗楽荘)

19日 ビデオ演奏慰問(全野先生)
20日 音楽ヴォランティア(おたまじゃくしの会)

21日 ガラス絵クラブ(講師 朽名先生)
介護支援専門員研修交流会(菅沼・福島 於 ライフポイントとはし)

23日 絵手紙教室(講師 神藤先生)
25日 認知症サポーター講座(福岡校区教育委員会)(白井主任・福岡校区地区市役所)

26日 職種別会議(社会福祉士)(白井主任・豊橋市役所)
27日 後援会豊橋新城合同理事会・懇親会(於 泉山園)

31日 経営陣プロジェクト第2回キャリアパス研修(於 作楽荘)

平成29年8月
1日 茶々倶楽部社内研修
2日 ガラス絵クラブ(講師 朽名先生)

3日 音楽ヴォランティア(歌の輪会)
職種別会議(主任ケアマネ)(渡邊 於 大清水センター)

4日 音楽ヴォランティア(おたまじゃくしの会)
5日 納涼盆踊り

7日 盆供養
8日 包括業務打ち合わせ会(包括 於 豊橋市役所)

9日 総合事業に関する意見交換会(白井主任 於 豊橋市役所)
10日 音楽ヴォランティア(日本の歌愛唱会)

13日 寿司祭り
14日 生花クラブ(講師 林先生)

15日 給食会
16日 送り火

17日 ビデオ演奏慰問(全野先生)
18日 ガラス絵クラブ(講師 朽名先生)

20日 絵手紙教室(講師 神藤先生)
21日 誕生会

酒井としさん(97歳)・小嶋万富夫さん(86歳)
酒巻ミエ子さん(93歳)・西村六郎さん(84歳)
渡邊三男さん(84歳)・佐藤道子さん(96歳)
中嶋知恵子さん(86歳)・洲崎喜芳さん(90歳)
茶々倶楽部・庄内研修
戦種別会議・社会福祉士(白井主任)於豊
橋市役所

職員代表プロジェクト第2回キャリアパス
研修(於 麗楽荘)
経営陣プロジェクト第3回キャリアパス
研修(於 作楽荘)
戦種別会議・保健師職(高須於幸王寿園)
連絡会議

美光ハイム日誌

平成29年7月

7日 七夕会
6日 茶道クラブ(講師 西口先生)
5日 カラオケクラブ(講師 白川先生)
4日 書道クラブ(講師 酒井先生)
3日 健康体操クラブ(講師 大須賀先生)
2日 豊橋祇園花火見物
1日 カラオケクラブ(講師 田中先生)
30日 カラオケ大会
平成29年8月
29日 カラオケ大会
3日 茶道クラブ(講師 西口先生)
5日 盆踊り
7日 盆供養
8日 カラオケクラブ(講師 白川先生)
9日 書道クラブ(講師 酒井先生)
17日 華道クラブ(講師 田中先生)
22日 カラオケクラブ(講師 白川先生)
26日 夏の音楽会
29日 健康体操クラブ(講師 大須賀先生)

倶楽部日誌

平成29年7月

11日 庄内研修茶々倶楽部
18日 運営推進会議
29日 庄内研修茶々倶楽部
外出(津田夏祭り・特養・G・H)
7月 誕生日者
河合 敏明さん(88歳)・谷山きよ子さん(93歳)
長坂 藤子さん(91歳)・守水マユエさん(88歳)
平成29年8月

スズメ日誌

平成29年7月

4日 Aユニットミーティング
7日 七夕会(飾り作品展示)
8日 AユニットB・B・Q・ディナー・花火
11日 Bユニットミーティング
14日 主任会議・連絡会議
18日 Cユニットミーティング
28日 運営推進会議
7月 誕生日者
河合 龍行さん(85歳)

平成29年8月

2日 Aユニットミーティング
8日 Bユニットミーティング
15日 Cユニットミーティング
18日 流しぞうめん大会
25日 主任会議・連絡会議
8月 誕生日者
大林登代子さん(93歳)・白井 恒子さん(90歳)
佐々木美子さん(92歳)

ベルビューハイム日誌

平成29年7月

1日 和太鼓(鼓流)
7日 明照保育園児慰問
8日 七夕会
11日 戦種別会議(堀内主任於あいトピア)
施設内研修茶々倶楽部(講師 菅沼先生・林先生)
13日 ケアマネ研修会(堀内主任於ベルビューハイム)
17日 和太鼓(豊丘高校)
18日 フラダンス・紙芝居(伊部さかえファミリア)
20日 音楽療法(おたまじゃくしの会)
22日 佐藤朱美歌謡コンサート(山吹里の会)
24日 温泉フェスタ(29日)

スズメ日誌

平成29年7月

25日 施設内研修茶々倶楽部(講師 菅沼先生・林先生)
26日 戦種別会議(社会福祉士(菅沼)於豊橋市役所)
28日 一誠福祉会後援会・豊橋・新城合同理事会・懇親会(於 泉山園)
30日 老健全国大会(愛媛県松山市)・28日
音楽療法(ハボの会)
28日 生け花3F(講師 佐藤先生)
30日 誕生日会
31日 戦種別会議(保健師(山崎・羽田)於ベルビューハイム)

平成29年8月

3日 第一興商慰問
7日 業務打ち合わせ会(堀内主任・菅沼・山崎於豊橋市役所)
8日 盆供養
施設内研修茶々倶楽部(講師 菅沼先生・林先生)
職種別会議(堀内主任於あいトピア)
ケアマネ交流会(堀内主任於ベルビューハイム)
16日 ケアマネ交流会(堀内主任於ベルビューハイム)
17日 音楽療法(おたまじゃくしの会)
21日 温泉フェスタ(26日)
22日 施設内研修茶々倶楽部(講師 菅沼先生・林先生)
職種別会議(社会福祉士(菅沼)於豊橋市役所)
職種別会議(保健師(山崎・羽田)於あいトピア)
職員代表プロジェクト・キャリアパス研修(麗楽荘)
経営陣プロジェクト・キャリアパス研修(作楽荘)
25日 生け花3F(講師 佐藤先生)
26日 納涼祭(18時)
27日 誕生日会
30日 音楽療法(ハボの会)

スズメ日誌

平成29年7月

1日 吉川太鼓(鼓流)慰問
7日 七夕会(流しぞうめん・カラオケ大会・手作り紙芝居)
11日 絵手紙教室(講師 鈴木先生)
17日 手作りおやつ(フルーツカップケーキ)

麗楽荘日誌

平成29年7月

5日 七夕会
11日 給食会議
14日 社会福祉士計簿記講座(安形百 於名古屋サンスカイルーム)
18日 新城市介護認定審査会(夏目香副主任於新城市役所)
19日 書道クラブ
20日 生け花クラブ
21日 庄内研修茶々倶楽部(講師 中島恵先生)連絡会議
26日 後援会・豊橋・新城合同理事会及び懇親会(於 泉山園)
29日 虐待を考える研修(神谷康 於 桜華会館)
7月 誕生日者
鈴木 志げさん(92歳)・小山 良氏さん(91歳)
三浦壽美子さん(81歳)・友水 恭子さん(77歳)

平成29年8月

3日 新任職員介護技術基礎研修(伊藤那 於日本福祉大学中央福祉専門学校)
5日 矢部地区盆踊り大会
8日 家族会
8日 給食会議
9日 職場環境改善研修(後藤荘長 於豊橋市民センター)
9日 愛知県実地指導
13日 排遣ケア研修(渡辺裕 於日本福祉大学名古屋キャンパス)
15日 盆供養
16日 迎え火
17日 書道クラブ
17日 生け花クラブ

22日	新城市介護認定審査会(夏目香副主任 於新城市役所)
25日	庄内研修茶々倶楽部(講師 坂野宗延先生)連絡会議
26日	入所判定会議
29日	介護保険指定事業者講習会(高木主任・海野副主任・曾根副主任 小林 今泉 於名古屋国際会議場)
8月	誕生日者
加藤(うめ)さん(97歳)・松澤 賢さん(97歳)	
夏目 武子さん(95歳)・張山 貞代さん(83歳)	
瀬本眞佐代さん(90歳)・中山 雪江さん(83歳)	
金原 とさん(82歳)・松本 孝雄さん(81歳)	
瀬川 孝夫さん(83歳)・竹下 美江さん(79歳)	
平成29年7月	
6日	和光会連絡会・和の会
7日	七夕会
10日	おやつ作り
11日	給食会議
12日	体操教室
19日	書道教室
20日	大正琴教室
21日	庄内研修茶々倶楽部(講師 中島宗恵先生)連絡会議
25日	お茶を楽しむ会
26日	健康チェック
平成29年8月	
2日	和光会連絡会・和の会
5日	矢部地区盆踊り大会
7日	おやつ作り
流し(そうめん)	
8日	給食会議
9日	体操教室
11日	盆供養
13日	迎え火
15日	新城市納涼花火大会鑑賞会
16日	送り火
23日	書道教室
24日	大正琴教室
25日	庄内研修茶々倶楽部(講師 坂野宗延先生)連絡会議

和光ハイム日誌

26日	お茶を楽しむ会
29日	誕生日者
8月	誕生日者
澤田 和雄さん(84歳)・石原サチ子さん(87歳)	
平成29年7月	
3日	認知症ケアセミナー(谷口 於 ウィンクあいち)
7日	七夕会
8日	書母祭(於 Gひきさら)
11日	東三河ブロック会議(野澤副主任 谷口 於 あいトピア)
21日	庄内研修茶々倶楽部(講師 中島宗恵先生)連絡会議
22日	運営推進会議
23日	のんはいルロット
26日	認知症カフェ
平成29年8月	
5日	矢部地区盆踊り大会
13日	迎え火
15日	新城市納涼花火大会鑑賞会
22日	東三河ブロック会議(高木主任・野澤副主任 於 あいトピア)
25日	庄内研修茶々倶楽部(講師 坂野宗延先生)連絡会議
26日	おやつ作り
27日	のんはいルロット
30日	認知症カフェ
8月	誕生日者
田中 時次さん(80歳)	
平成29年7月	
1日	実習指導者研修(森主任 於 名古屋市中総合社会福祉会館 9日・30日)
6日	バンドミー 庄内販売
7日	七夕会
8日	運営推進会議
21日	書母祭(於 Gひきさら)
21日	庄内研修茶々倶楽部(講師 中島宗恵先生)連絡会議

奇楽荘日誌

24日	社会福祉法人主任・係長講座(柳生副主任 於 東京ファッショントウンビル 25日)
7月	誕生日者
山口 豊さん(100歳)	
平成29年8月	
3日	バンドミー 庄内販売
6日	天王祭
13日	迎え火
15日	一献田盆踊り
16日	送り火
18日	レインボーハウス庄内販売
19日	実習指導者研修(森主任 於 名古屋市中総合社会福祉会館)
20日	広域連合シンポジウム(森主任・柳生副主任 於 豊川文化会館)
25日	庄内研修茶々倶楽部(講師 坂野宗延先生)連絡会議
26日	おやつ作り
29日	愛知県事業者講習会(菅沼副主任 於 名古屋国際会議場)
8月	誕生日者
浅井 秀子さん(92歳)・天野 恒子さん(88歳)	
平成29年7月	
7日	七夕祭
8日	書母祭
21日	庄内研修茶々倶楽部(講師 中島宗恵先生)連絡会議
22日	つくでの森の音楽祭
27日	俺ん家カフェ
30日	のんはいルロット
平成29年8月	
4日	夏祭り(於 富岡ふるさと会館)
6日	ほらら吹奏楽団定期演奏会
18日	寿司祭り
22日	Gひきさら協議会(杉浦・横井 於 ウィンクあいち)
24日	俺ん家カフェ
25日	庄内研修茶々倶楽部(講師 坂野宗延先生)連絡会議
26日	長篠城址史跡保存館歴史講座
27日	のんはいルロット
31日	マキノブルーベリー園演奏会

Gひきさら日誌

編集後記

日本全国津々浦々、夏の風物詩として人気の高い花火大会。マナー違反や資金の問題などから、今年は全国的に中止が相次いでいるらしい。

江戸時代の両国の川開きがその起源と言われる花火大会は、日本人にとっては昔から、老若男女みんなが楽しみにしている大切な伝統行事。

作楽荘の盆踊り会のフイナールは、打ち上げ花火で締めくくった。今年もまた、夜空を彩る綺麗な花火が参加してくださった方々を魅了した。

時の流れの中で、伝統行事や伝統文化を継承するか否かの決断は、大きな分岐点となる。来年には創立30周年が控えている当法人としても、その取捨選択については、正しい判断をしていきたいものだ。

(K・F)